

第48回全道(U-12)サッカー少年団大会釧路地区予選 兼 第45回道新旗U-12釧路サッカー大会

開催要項

- 目的** 釧路の少年サッカーのレベル向上を図るとともに、平成28年度第48回全道サッカー少年団大会に釧路地区代表として出場するチームを決める。
- 名称** 第48回全道(U-12)サッカー少年団大会釧路地区予選 兼 第45回道新旗U-12釧路サッカー大会
- 主催** 釧路地区サッカー協会 北海道新聞社
- 主管** 釧路地区サッカー協会4種委員会
- 後援** 釧路市教育委員会 鶴居村教育委員会
- 期日** 平成28年7月2日(土)、3日(日)
- 会場** 鶴居村多目的運動広場、阿寒町多目的広場
- 参加資格**
 - 平成28年度(公財)日本サッカー協会第4種・女子に加盟登録したチーム及び選手。
 - Aトーナメントの選手エントリーは16名以内とし、Bトーナメントはフリーとする。学年構成は問わない。
 - 本大会参加選手は、スポーツ安全協会傷害保険もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。
 - 帯同審判を2名以上帯同できるチーム。
- 競技方法**
 - 8人制とする。競技方法は、トーナメント方式とする。
 - 試合時間は30分(15分ハーフ・ハーフタイム5分)とする。ただし、Aトーナメントの準決勝・決勝は40分(20分ハーフ・ハーフタイム5分)とする。
 - 勝敗が決しない場合は、PK方式(3名)にて次回進出チームを決する。
Aトーナメントの準決勝・決勝のみ10分間(5分ハーフ)の延長戦を行い、それでも決しない場合はPK方式(3名)で決定する。
- 競技規則**
 - 競技規則は、本年度(公財)日本サッカー協会制定の『サッカー競技規則』及び『8人制サッカー競技規則』による。
 - チーム構成は、指導者4名、Aトーナメントは選手16名以内、Bトーナメントはフリーとする。
 - 登録選手全員が、主審の許可を得ずに、交代ゾーンを使用して自由に交代することができる。交代して退いた競技者は、交代要員となって再び出場できる。
 - 参加チームは試合開始前にメンバー表を提出する。
第1試合に提出したメンバーが、本大会のエントリー選手となる。
 - 本大会において退場させられた者は、次の1試合に出場できない。
そのチームの最終試合の場合は、次のエントリー大会に持ち越す。
ただし、該当チームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
1試合停止以降の処置については、本大会の規律委員会で決定する。
 - 本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
 - ベンチが判定に対して異議を唱えたり、選手に対して、罵声などネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降は、ベンチからのコーチングを不可とする。
 - 試合球は4号球(公認球)とし、事務局で準備することを基本とする。
 - スパイクは固定スタッドとし、レガースの着用を義務付ける。
 - ユニフォームは正・副2着以上用意する。ユニフォームには背番号をつける。
 - ピッチサイズは68m×50mを基本とし、少年用サッカーゴールを使用する。
 - 3人制審判で行う。
- 全道大会** Aトーナメントの優勝・準優勝のチームは、7月29日(金)～8月1日(月)に旭川地区で開催される、「第48回全道サッカー少年団大会」への参加を義務づける。
- 参加申込** 年度当初のエントリーに変更がある場合は、5月16日(月)までに、4種委員長に連絡する。
- メンバー表** 大会プログラム用のメンバー表は、5月30日(月)までに、4種委員長へメールで送付する。
- 組み合わせ** 5月31日(火)の監督会議にて抽選を行う。
- 開会式** 7月2日(土)11時30分より、鶴居村多目的運動広場にて行う。
- 閉会式** 7月3日(日)の決勝戦終了後、決勝戦会場にて行う。
準決勝まで残ったチームの選手・監督は、全員参加することを基本とする。
- その他**
 - 本大会の参加料は、1チーム3,000円とする。
 - Aトーナメントは、初日に選手証の確認を行う。
 - 昨年度「トラック協会杯U-11釧路地区予選」ベスト4チームをシードする。
 - Aトーナメントに出場するチームは、3級以上の審判、あるいは4級強化指定を受けた審判を1名以上帯同する。帯同できない場合は、不帯同審判料を事務局に支払う。
 - 全道大会には、2級審判員の帯同が義務づけられている。もし帯同できない場合は、不帯同審判料16,200円を振り込むこと。